

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
代謝代行技術学Ⅱ	1年次	必修	講義	2単位（30時間）	相田 武則 ※
授 業 概 要					
代謝に関わる生体機能代行装置の基本的知識とその原理及び医療技術について理解する。 血液浄化療法の種類や方法について学び、周辺機器についての基本的な構造や動作原理を理解する。 生体機能代行装置を安全に管理するための基礎的な保守や点検項目及び方法などを学び身につける。					
到 達 目 標					
1) 代謝に関わる機器の患者への適用方法が説明できる。 2) 代謝に関わる機器の構造と特性が説明できる。 3) 代謝に関わる機器を安全に扱うことができる。					
実務経験のある教員					
西村 裕介 小池 明生 渡辺 恭兵：病院での臨床経験を踏まえ、代謝に関わる生体代行装置の実施例や保守について解説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	血液浄化技術(1)	抗凝固剤の種類と選択			渡部 恭兵 ※
2	血液浄化技術(2)	治療中の監視項目			〃
3	血液浄化療法(3)	患者管理、食事療法			〃
4	バスキュラアクセス(1)	種類と特徴			西村 裕介 ※
5	バスキュラアクセス(2)	作成方法、合併症			〃
6	バスキュラアクセス(3)	合併症対策と穿刺技術			〃
7	その他の血液浄化療法(1)	血液透析濾過			〃
8	その他の血液浄化療法(2)	血液・血漿吸着			〃
9	その他の血液浄化療法(3)	血漿交換、持続的血液浄化療法			小池 明生 ※
10	その他の血液浄化療法(4)	腹膜透析			〃
11	血液浄化周辺機器(1)	患者監視装置概要			〃
12～13	血液浄化周辺機器(2)	患者監視装置の構造と原理、安全管理			〃
14～15	血液浄化療法の周辺環境	患者推移、在宅血液透析、腎移植			渡部 恭兵 ※
学 習 方 法					
臨床工学技士の主要業務のひとつである血液浄化療法装置とその安全についての科目である。予習復習を十分にいき、しっかりと理解すること。					
評 価 方 法					
学科試験により評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕 臨床工学技士標準テキスト 第4版 最新生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 配布資料					
小野哲章 他 日本臨床工学技士教育施設協議会 監					
金原出版 医歯薬出版					